

藻琴山のプロフィール

藻琴山は日本最大のカルデラ湖である屈斜路湖の外輪山で最も標高の高い山です。標高 1000 メートルの頂上からは、湖と火山地帯のすばらしい眺めを楽しむことができます。5 つある登山道は、山頂を含め山腹を巡るループのように繋がった一つのコースになっています。登山者は、スカイライン遊歩道だけのコース、または全てを巡るループコースを選ぶことができます。メインとなる登山口は標高 725 メートルの位置にあり、大きな駐車場に展望台と小さなカフェが併設されたハイランド小清水 725 で、どちらのコースもここが出発地点です。

スカイライン遊歩道

スカイライン遊歩道は、ほとんどの年齢や体カレベルの登山者が楽しめるコースです。上り坂は 1 時間ほどで、来た道を下る復路は 45 分ほどかかります。登山口から山へと続く狭く曲がりくねった道の脇には、高山低木である日本ハイマツが生育しており、これらを標高 2000 メートル、またはそれ以下の地域で見られるのは大変珍しいことです。

厳しい環境を生き抜く、たくましい木々が生い茂る道の所々には開けた場所があり、休憩の合間に周辺地域の景色を楽しむことができます。遊歩道を半分ほど過ぎた所から、生えている木々がハイマツから代わり、カバノキが見えるようになります。これらの木々の茂みを抜けると、屏風岩が現れます。このそびえ立つような岩は、屏風を想起させます。屏風岩から 800 メートルの地点には草原が広がり、登山者は最後の短い上り坂へと進む前に休憩をとることができます。

登山口の周辺地域では、時折シベリアシマリスを見ることができ、特徴的なうぐいすのさえずりを聞くこともできます。遊歩道の周りには様々な高山植物が生育し、山肌を四季折々の鮮やかな彩り染め上げます。安全上の理由から、登山者は必ず登山口に名前と登山計画書を登山口に残していくよう求められています。

藻琴山ループコース

4 つの登山道とスカイライン遊歩道を繋ぐと、全長約 8 キロメートルのループになります。スカイライン遊歩道の頂上に到着した後、登山者は銀嶺水遊歩道（2km）へと繋ぐ登山道（1km）を進みます。銀嶺水遊歩道の登山口には、バイオトイレや、地中から水が湧き出る天然の泉があります。銀嶺水遊歩道はその後、トドマツ遊歩道（500m）の一部へと繋がります。これらの 3 つの遊歩道は、曲がりくねり森の中を抜け、望岳台遊歩道（2.5km）へと繋がっています。望岳台遊歩道は比較的平坦で、天候が良ければ遊歩道沿いのさまざまな場所で斜里岳を見ることができます。

ループトコースをハイキングするのに最も適した方法は、ハイランド小清水 725 を出発地点・ゴール地点にすることです。コース沿いには、車でたどり着くことができる銀嶺水遊歩道の登山口を含め、複数の入り口があります。

ループコースは、かなり厳しいルートになるため、経験豊富なハイカー向けのコースです。